

新聞やテレビのニュース、あるいは家庭にある身近な物質に興味を持って調べてみると、さまざまな物質が理科との関わりの深いことに気づきます。

1. 重そうは昔から洗剤として用いられたり、胃酸^{いさん}を中和するための胃薬として用いられています。また、熱分解によって気体を発生することから、ふくらし粉として用いられるなど生活に欠かせない物質です。

[平成19年度出題]

2. チョークの原料は主に炭酸カルシウムです。ホタテガイの殻^{から}も炭酸カルシウムであることから、今まで捨てていたホタテガイの殻を、くだいてチョークとして利用できるようになったということで注目されました。また、小さくなったチョークを土にまぜると、土壌^{どじょう}を改良することができることも話題になりました。

[平成20年度出題]

3. 近年さまざまな電池が開発されています。その中でも、燃料電池は水素の燃焼を利用した電池です。発生する気体が水蒸気であることから、クリーンエネルギーとして注目され、今では実用化されるようになってきました。

[平成21年度出題]

正解

1. ア 2. イ 3. ウ